

北播磨地域ビジョン委員会だより

第3号

ほっほ

北歩くんが行く

「はいちゅうの日」で
おもてなし!



北播磨の魅力発信に
奮闘する北歩くん!

「三木ナメラン」を
応援!!



交流が広がる分科会

～「まちむら交流」で活力を育む地域をめざします～



日時 平成29年4月16日(日)
場所 北谷川桜つつみ JAグリーンハndsよかわ吉川公民館
集合 10時 JAグリーンハndsよかわ 駐車場有
(三木市吉川町古川 798-2 上吉川小学校近く)
解散 14時(予定)
参加費 大人(中学生以上)1,000円 小人 600円
少雨決行 中止決定は8時

申込は
裏面

おいし～い旬の味
筍ご飯&筍の丸焼き



主催 北播磨地域ビジョン委員会
事務局 北播磨県民局 総務企画室
TEL 0795-42-9513 FAX 0795-43-0169
協力 NPO法人 This is MIKI 三木たけとり物語委員会

里歩きや体験型イベントを通じて、世代を超えた交流を図るとともに、ふるさと北播磨の自然環境を楽しむスポットを再発見し、その魅力を地域の内外にPRします。

【イベント告知】

ウォーキングイベントが復活！
今年は吉川の北谷川桜つつみで開催します。春ということで、竹や筍を用いた体験型イベントも用意しています。
まもなく申込受付を開始いたします。
多数のお申込みお待ちしております！

【活動紹介】

北谷川桜ウォークの開催に向け、北谷川桜つつみの下見にも行ってきました。



【北播磨の魅力の発信と交流人口を増やします】

北播磨の自然豊かな公園でゲームを楽しもう。

平成29年度は、地域内外からの参加者による交流型ゲーム大会を様々な公園で開催する予定。そこで、今年度はやしらの森公園収穫祭に参加し、活動方法についての学びを深めました。



ぼくの名前は「北『歩く』ん」だよ。みんなと一緒に北播磨を歩こう。



生活（くらし）の絆が深まる分科会

～家族・地域・生活（くらし）の絆を深め、絆の力で安全・安心を支える地域をめざします～



防災日めくりカレンダー（16.11.08）

- ・赤字反転は、注釈を左に縦書きで添える。
- ・全ての漢字に「るび」を付ける（但しAEDの「ルビ」はカタカナ）

掲載順	NO	ジャンル	標語
1	11	地震	アツ地震！ ぐらっときたら 頭を守れ！
2	15	人命救助	病気がけ 連絡先は119
3	20	避難	メモ残し 自分のいるとこ 知らせよう
4	25	風水害	警報だ！ 外で遊ぶの ガマンガマン
5	37	備え	ハザードマップ 広げてみんなで シミュレーション
6	32	風水害	竜巻だ！ 建物、窪地に すぐ避難
7	3	火事	一台は 備えておこう 消火器を
8	9	危機管理	ブラブラと 切れた電線 近寄るな
9	17	避難	避難の時は 押さない 駈けない シャべらない
10	28	風水害	空を見て 天気の変化 見逃すな
11	36	備え	もしもの時 命を繋ぐ 飲料水
12	4	火事	避難前 火の元一度 確かめて
13	13	地震	地震が来たら 出口の確保 忘れずに
14	24	避難	火事の時 頭を低く 口をふさいで避難する
15	35	備え	月一度 家族防災会議する
16	5	火事	ブレーカー 避難する時 落とします
17	16	人命救助	AED 迷わず使う 人命救助
18	33	風水害	ゴロゴロと 聞いたらすぐに 建物へ
19	2	火事	すぐ逃げる！ 火事が広がる その前に
20	18	避難	覚えよう 災害伝言ダイヤル171
21	38	備え	ローリングストック 使って補充の 非常食
22	10	支援	無理をせず 自分ができる ボランティア
23	34	備え	寝る場所は 転倒防止対策 忘れずに
24	14	地震	大震災 教訓活かす 日ごろの訓練
25	40	備え	出かけたら まず見つけよう 非常口
26	7	危機管理	ぬれた手で さわるな危険 コンセント
27	12	地震	緊急地震速報は 命を守る 第一報
28	26	風水害	雷ゴロゴロ 高い木には 近づくな
29	39	備え	日頃から 備えておこう 非常袋
30	8	危機管理	登下校 危険な場所に 近づくな
31	29	風水害	あぶないよ 橋の下での 雨宿り

防災標語の検討

昨年度までの活動から引き継がれた防災標語を活用した『防災日めくりカレンダー』が完成しました。

大人から地域の子どもの伝えたい安全についてのメッセージを掲示することで、児童の関心を高めるとともに、指導員等が一言添えることで日々の生活の中で児童が無理なく学んでいくことを狙いとしています。



この防災日めくりカレンダーは次年度以降に

子ども教室、学童保育の計86ヶ所をはじめ、150部を配付する予定です。

日めくりカレンダーを掲示することで、指導員、リーダーによる啓発を促し、子どもたちの防災意識を高めていきます。

文化が花開く分科会

～芸術・文化を暮らしに活かす地域をめざします～

北播磨の芸術・文化・歴史に触れ、その素晴らしさを発信しよう！

【実践活動の紹介】

「東条川疏水視察会」と「ふるさとのしらべ ミニコンサート」開催 平成28年10月24日(月)

六ヶ井円筒分水 見学



流れてくる用水を公平に分水する施設。工夫された構造に一同感心しきりでした！

鴨川ダムに到着



東条湖を眺めながら山際専門員の解説に耳を傾けます。改めて水の大切さに気付くことができました。

見学はダムの内部へも



管理のご苦勞を知る貴重な体験でした。

ふるさとに暮らす人々は疏水を大切な財産として守ってきただね。この素晴らしさを音風景として発信していけたらいいな。



ミニコンサート 開催



琴とハーモニカによる演奏会を開催。ふるさとの風景を思い起こさせる、素朴で優しい音色に感動しました。

東条湖畔での音収録



「北播磨の音風景50選」作成に向けみんなで収録練習を行ない、作業の確認を行いました。

【今後の活動計画】 「北播磨の音風景50選」の完成と発信

委員自らが選定し、自身の手で北播磨の特徴的な風景写真とその音を収録。これらを併せて「音風景」を作成し、県内外に広く発信します。地域での音風景作成は県内でも初の取り組みであり、北播磨をアピールする好機になればと期待しています。



音収録作業ただいま進行中！



会議では活発に意見交換が。

どんな音風景が出来上がるのかとっても楽しみだね！北播磨の美しい風景をたくさんの人に知ってもらいたいな！



恵み豊かな環境が持続する分科会

～北播磨が持つ豊かな自然・生態系と調和した暮らしが持続する地域をめざします～

テーマ

知っていますか？北播磨の自然環境

知っているようで知らなかった北播磨の自然環境の再認識を通じて、北播磨の自然環境の良い点や課題点を見つけ、内外に情報発信してよりよい生活環境への改善を進める一方、素晴らしい北播磨の自然環境を広く伝えていきます。

【有害鳥獣被害を知る（課題点）】

- ・北播磨でも熊が出たとの情報が最近多い。
- ・以前より南の地域までシカやイノシシの被害が広がってきている。



そこで、有害鳥獣被害の実態把握と防除対策についての学びを深めることとしました。

<兵庫県森林動物研究センター等の視察>

北播磨の自然環境の良い点と問題点を把握するため、丹波市立いきものふれあいの里、兵庫県森林動物研究センターを視察しました。森林動物研究センターでは捕獲方法を含め、効果のある対策にするために少なくとも集落単位で防除に取り組むことを学びました。

<兵庫県加東農林振興事務所からの説明と発信>

県の担当職員を招き、兵庫県の野生動物の現状、鳥獣保護管理法ほか2法に基づく鳥獣対策制度、北播磨地域の鳥獣被害状況や捕獲頭数、獣害防止柵設置状況について数字を元に有害鳥獣対策を説明いただきました。

また、来年度は「ひょうご森のまつり」に出展し、鳥獣被害の実態を実例や数値、写真そして防除情報を参加者に対しパネル等でわかりやすく伝えていきます。



鳥獣被害はきちんと取り組めば防げることを知ったよ。北播磨の自然環境を五感で感じるって楽しみだよね。



【素晴らしい自然環境を伝える（良い点）】

- ・平成29年度には、「ひょうごの森のまつり」が多可町で開催されます。その機会を活用して参加者自らが北播磨の自然の中を歩き、スケッチや自然の素材を使った作品制作を通じて素晴らしい自然環境を五感で感じることができる取り組みを計画しています。

元気な産業が興る分科会

～多様な産業が活性化し、だれもが生きがいを持って働ける地域をめざします～

- 「HYS低温発酵有機資材 保田ぼかし」を利用した有機農業の学習、実践活動を通じて、有機農業の普及と安全・安心な農産物の魅力の発信に努めます。
- 食と農に関心を持つ地域の若者を、農業の6次産業化に熱心な企業、グループに繋いでいきます。

保田ぼかしによる健康野菜づくり勉強会グループは、9月から計7回の勉強会を開催中です。3月には保田先生の講演会を行います。

土づくりの方法—三種類の材料を適量施用する保田方式

- 1 「完熟牛糞堆肥」は、育てる野菜の“ごはん”になります。土の団粒構造の形成、次の作のための土壌改良になります。
- 2 「保田ぼかし」は、育てる野菜の“おかず”になります。保田ぼかしとは、土と米ぬか、油粕、魚粕、カキ殻石灰、水を混ぜたあとポリ袋等に密封し、嫌気性発酵させた肥効を和らげて（散らす、ぼかす）、生育障害を招かないように工夫した資材のことで、化学肥料のように速効性はなく、ゆっくりと効き、追肥は要りません。

《勉強会の内容》

- ①有機農業の考え方と方法
- ②土づくりの理論と方法
- ③堆肥の効用と利用
- ④ぼかしの効用と利用
- ⑤野草の効用と利用
- ⑥土と野菜の関係
- ⑦化学肥料と農薬の問題点



- 3 「野草（あえて雑草と呼ばず）」は、育てる野菜の“デザート”になります。敷草として利用。水分保持、雑草抑制、ミネラル・繊維分（腐食）の補給、クモ類の生息場所、微生物のエサ等の効果が期待できます。

地元で6次産業化に頑張る個人・グループ紹介MAP活用グループは、北播磨で農業の6次産業化に取り組んでおられる学校、施設等を見学しています。

- 農業×福祉×エコをすすめる就労継続支援B型『特定非営利活動法人地球のなかま』のオリーブ農園他を見学（9月）
- 地元の人々とハーブを有機栽培し、6次産業化をすすめるハーブ工房みきヴェルデのハーブ畑他を見学（10月）
- 地域を元気にする食育を進める社高校生活科学科が地元の桃や三草茶、柚子、ホウレンソウを使った菓子等を店頭販売するチャレンジショップを見学（11月）



僕のフェイスブック
を見てね。

北播磨地域夢会議

北播磨地域の将来像の実現に向けた取組等について、地域ビジョン委員と地域の方々が集まり、意見交換を行う「北播磨地域夢会議」を毎年開催しています。

平成28年度

「みんなで紡ぐ北播磨の未来(あした) ～僕たち、私たちからのメッセージは時(とき)を超えて～」

1 日時 平成29年2月5日(日) 13:00～16:00

2 会場 西脇市茜が丘複合施設Mirai e (みらいえ) 多目的ホール

3 内容

<第1部> 基調講演

テーマ 「次世代に繋いでいきたい地域の姿」

関西国際大学人間科学部講師 松原 茂仁

<第2部> 意見交換会

テーマ 「みんなで紡ぐ北播磨の未来(あした)

～僕たち、私たちからのメッセージは時(とき)を超えて～」

○「兵庫2030年の展望」の説明

○会場全体での意見交換

ファシリテーター 兵庫教育大学大学院准教授 森田 啓之



平成15年に第1期北播磨地域ビジョン委員が取り纏めた、北播磨各地の小学生の作文集「僕と私のまちづくり」に掲載の今年度25歳を迎える青年たちと一緒に意見交換を行います。

【平成27年度】

「ええとこいっぱい北播磨！～“北播磨らしさ”あふれる元気なまち～」

1 日時 平成28年2月11日(木・祝) 13:30～16:00

2 会場 小野市うるおい交流館エクラ市民交流ホール

3 内容 「“北播磨らしさ”あふれる元気なまちづくり」をテーマにした討論会や、兵庫県立社高等学校生活科学科、農事組合法人きすみの営農、兵庫県立西脇高等学校生活情報科による活動事例発表等

4 参加者 190名



“ひょうごのハートランド”をめざして



北播磨地域ビジョン委員会では、地域の将来像である、人とまちが元気にきらめき、魅力にあふれた“ひょうごのハートランド”をめざし、各委員が地域像ごとに、5つの分科会に分かれて、様々な活動を行っています。

北歩くんの紹介

北歩くんは、北播磨の地形がベースで、かぶと虫がモデルです。

【ユニフォームの色が表すもの】

- 「緑」・・・豊かな自然
- 「青」・・・加古川などの清流
- 「黄」・・・住民の元気や活気
- 「赤」・・・ビジョン委員の熱い思い

第8期北播磨地域ビジョン委員会 委員長 内藤 忠

全国各地の地域にはそれぞれ、歴史や文化、産業などを土壌とした“地域らしさ”があります。

近年は全国的にも人口減少問題に直面しており、北播磨地域もその影響が少しずつ現われてきていると感じています。

そこで、北播磨地域に生きる私たちこそが“北播磨らしさ”を理解し、手を取り合って内外に伝えていくことが地域の元気を保つため大切ではないかと思えます。

私たちの実践活動は皆さんと一緒に取り組んでこそ大きな効果が得られるものばかりです。引き続き北播磨地域ビジョン委員の活動へのご理解ご協力をお願いするとともに、皆さんの積極的なご参加をお待ちしています。



発行 平成29年2月

北播磨地域ビジョン委員会広報部会(北播磨県民局総務防災課ビジョン担当)

〒673-1431 加東市社字西柿1075-2

TEL (0795) 42-9513 FAX (0975) 43-0169

ホームページ

北播磨地域ビジョン委員会

検索